

Mich

Minoh City Hospital

2010.10 Vol.22

<http://www.minoh-hp.jp>



カリガネツウ (通称にて)

編集発行：箕面市立病院 患者サービス・広報委員会 ☎ 072-728-2001(内線2206)

INDEX

1. 安心安全なお産	P.1	6. Wave of Nursing (看護局ニュース)	P.6
2. 部門紹介「がん相談室」	P.2	7. 新任医師紹介	P.7
3. 新しいバス交通	P.3	8. 地域医療室だより	P.8
4. 診療科からのメッセージ	P.4	9. たなばたコンサート	P.8
5. 市民医療講座のお知らせ	P.5	10. 青空 (編集後記)	P.8

当院の産科の取り組み

近年、産科医の不足により分娩を受け入れる病院が減少しています。箕面市立病院では「安心・安全な出産」をモットーに、分娩体制を整えています。全例に産婦人科医が立会い、分娩リスクの高い出産には、小児科医が24時間体制でバックアップしています。

●快適なマタニティライフを送るために

妊娠婦外来では、快適なマタニティライフを送れるよう、妊娠各期の定期健診や母親学級を通して、お母さんお一人おひとりに合わせた妊娠婦相談を行なっています。妊娠中の体形の変化による身体不快や腰痛は、骨盤のゆがみが原因でおこる場合があります。骨盤固定法やリラクゼーションのすすめ、出産に向けての呼吸法など妊娠中のお母さんの生む力、赤ちゃんの生まれる力が最大限に發揮できるようお手伝いします。

●出産に立ち会う家族のケアについて

「出産」は家族にとって大イベントです。夫が出産に立ち会うケースは年々増加しています。「立ち会い分娩」は、夫の緊張感と戸惑いが伝わってきます。出産前、妻が陣痛を乗り越えられるよう夫の援助方法をお教えします。出産のその瞬間を夫婦、家族で迎える

ことは、家族の絆を一層強くするのではないでしょか。

●産後の取り組みについて

分娩直後は、お母さんの胸に赤ちゃんを抱っこする「カンガルーケア」を行います。出産を無事終えたお母さんの笑顔と涙、抱かれた赤ちゃんの健やかな寝顔はとても感動的です。赤ちゃんと過ごす時間が欲しい方には、ご希望により「母児同室」を行っています。

出産後の育児指導では、赤ちゃんとお母さんにあつた授乳方法や抱っこの仕方と一緒に工夫します。(授乳室写真参照)赤ちゃんがすくすく育つように、子宮内での赤ちゃんの姿勢を重視した「ベビー整体」にも取り組んでいます。また、出産後の体力の回復ために、今年の4月には、栄養部との協力で美味しい母乳ができるよう「産後メニュー」に工夫を凝らしました。適切な栄養と乳汁の分泌、おっぱいケアはとても大切です。産後の経過と母乳育児については、乳房外来でご相談ください。

これらの取り組みにより、「とても安心しておまかせできました。ここで出産できて本当に良かった」というご意見をいただいています。この声は、私たち職員にとって、とても励みになっています。

産婦人科外来では、分娩予約に関するご相談を、いつでもお受けいたします。



〈授乳室〉



〈産後メニュー〉



部門紹介

がん相談室

緩和ケア認定看護師

加藤理香

当院は今年4月に大阪府の「がん診療拠点病院」に認定されました。がん診療拠点病院には、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者さまに対する相談支援及び情報提供という3つの大きな役割があります。今回はそのひとつであるがん相談支援について紹介します。

●がん相談とは

がんと診断された患者さまとそのご家族は、さまざまな意思決定を行いながら治療に向き合っていかねばなりません。特に心理的負担は大きく、相談できる場所、話を聞いてもらう場所が必要となります。がん医療が発展している諸外国ではがん患者さまの心理面へのケアは通常のケアであり、さまざまな思いを伝え、必要な情報提供を受けながら、意思決定へのサポートが受けられます。しかし我が国ではがん治療技術は進んでいますが、心理的なサポートは不十分であるのが現状です。そこで当院では本館2階エレベーター横南側にがん相談室を設置し、がん患者さまに対する相談を緩和ケア認定看護師を中心に開始しました。

緩和ケアチーム

私たちもは患者さまの病気に対する不安や痛み、化学療法による副作用など、さまざまな症状を緩和することを目指して活動しています

私たちもはよりよい治療や看護が提供できるようご家族へのサポートも含め入院生活を支援します



緩和ケアチームと病棟の看護師とカンファレンスを行ない、患者さま一人ひとりに応じた治療や看護ケアについて検討いたします。

緩和ケアチームメンバー:内科医、精神科医、外科医、看護師、薬剤師

●がん相談を始めて

4月から相談活動を開始し、月10例以上の患者さま、ご家族の相談をうけてきました。症状やお薬についての疑問や確認したいことなど、いろいろな相談があります。相談の経過を通して、患者さまが前向きにがんに向き合

うことができるよう支援していくたいと考えています。がんによる痛みがある患者さまに対しては、具体的な対処方法を説明することにより、痛みから解放されることも可能となります。

また患者さまの生活状況を考えて、パンフレットなどを使って説明した結果、「ずいぶん楽に生活ができるようになった」と報告に来ていただいたこともあります。

●がん相談を希望される方は

がん相談室への相談は外来診察の際や入院している病棟で「がん相談を受けたい」と気軽に医師、看護師にお伝えください。がん相談室でゆっくりお話を聞くことができます。相談内容は多岐に渡ると思いますが、当院にはさまざまなサポートチームも活動していますので、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、外来点滴センター、地域医療室、がん診療推進部などとも連携を図り、患者さまに合わせて対応していくことが可能です。情報提供のためのパンフレットも各種取り揃えておりますのでどうぞお気軽に相談してください。

患者さま、ご家族の思いを十分に聞き、必要な情報提供を行い、意思決定をサポートしていくことががん相談室の大きな役割です。がん診断初期からの心理面へのケアということに今後も力を入れていきたいと考えています。



◆◆◆◆◆◆◆◆ 新しいバス交通 ◆◆◆◆◆◆◆◆

病院正面玄関にバスが着く！ 環境への配慮、みんなで公共交通を利用しましょう。

箕面市では、9月1日から「Mバス」に替わり、新たなバス交通として箕面コミュニティバス「オレンジゆづるバス」の実証運行が始まりました。

市内を5ルート（7路線）の循環バスが運行し、全てのルートが市立病院に乗り入れます。（一度の乗継で市内どこにでも移動できます。）

運行ダイヤは、市立病院や各停留所、その他の公共施設等に配置しています。

「オレンジゆづるバス」は、どなたでも利用できる箕面市内バス交通で、利用料金は右記のとおりです。



◆朝7時台から夜7時台まで毎日運行

（1時間に1便：1日10～11便）

◆車椅子対応の小型ノンステップバス

◆「オレンジゆづるバス」同士及び「阪急バス」の箕面森町線との乗継割引

◆運賃表

種類		乗車料金
普通運賃		200円
割引運賃	小児（小学生以下）	100円
	高齢者（70歳以上）	100円
	障害者（介護人含む）	100円
乗継運賃		100円
高齢者、障害者、小児		50円

「阪急バスの回数カード」スルッとKANSAIも利用でき、お得な回数券、定期券も発売しています。

詳しくは箕面市交通政策課（072-724-6907）にお問い合わせください。

◆◆◆◆◆◆◆◆ 12月1日から、駐車場料金を改定します ◆◆◆◆◆◆◆◆

市では、公共施設の駐車場を施設の利用者以外の方も有料で利用できるようにするなど、駐車場の有効活用を進めています。

これまで市立病院の駐車場は、患者さまは無料、その他の方は3時間まで無料、それを超えると30分につき200円という料金体系でした。それを、12月1日（水）から、下表のように改定させていただきます。

料金区分	区分に当てはまるかた	料金体系	
		30分	3時間
料金区分1	市立病院 患者、医師が認めた付き添い	無料	100円
	総合保健福祉センター 医療保健センター利用者		
料金区分2	市立病院 面会、見舞い、その他来院者	無料	100円 以降、30分ごとに100円
	総合保健福祉センター 貸館利用者（使用料減免対象者を除く）、介護老人保健施設の面会・見舞い、その他来館者		
料金区分3	市立病院 障害者（手帳所持者）、時間外救急患者		無料
	総合保健福祉センター 障害者（手帳所持者）		
料金区分4	総合窓口相談者、健診・予防接種等受診者、市主宰の講座・事業等の参加者、貸館利用者（使用料減免の対象者）	無料	以降、30分ごとに100円

駐車場の管理運営は今後の設備更新などにより赤字運営が見込まれます。これまで患者さまの診療費を駐車場運営の赤字補てんに使用する形で対応して参りました。

診療費は本来医療サービスの充実に活かしていくべきものであることから、駐車場の管理運営にかかる経費は利用者の駐車場料金で対応する方針とし、料金を改定させていただきます。

市立病院が今後も地域の中核病院として役割を果たし続けるためにも健全な財政運営が必要であり経営改善に努めているものです。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

Information

耳鼻いんこう科（10月1日から）・整形外科の外来診察は完全予約制です。

初診の際には、紹介状をお持ちください。

当院では、急性期医療を担う病院として、地域の医療機関と連携し、入院を主体とした医療を行っております。

地域のかかりつけ医との連携を進め、当院の勤務医が手術・入院治療に専念するため、整形外科は昨年の7月から、耳鼻いんこう科は10月1日から、外来診察は完全予約制です。ご理解とご協力を願いいたします。

かかりつけ医をもちましょう！

診療科からのメッセージ

総合診療科「目標はオール60点」



部 長

白 しろ

銀 がね

隆 たか

宏 ひろ

「何でもできる医師」として、総合診療医が大活躍するTV番組があるようですが、それは一般の人が描く医師の理想像であって、現代医療の広汎性を考えるとほぼ不可能で、もちろん私にも無理です。箕面市立病院の総合診療科は、救急総合診療部（通称ER）での診療を中心とし、その診療結果に基づいて各専門科の医師につないでいく、いわば「初診

患者さんと各専門医をつなぐ窓口」の役割を担っております。つまり内科系、外科系を問わず患者さんを診察し、その症状・身体所見、検査結果からどのような疾患で、どの診療科で治療を受けるのが適切かを判断します。だからその診断結果に基づいて「いかに適切な診療科に紹介するか」ということも患者さんにスムーズに専門医による治療を受けていただくためには大切です。各専門医がある特定分野について100点満点の深い知識と専門治療能力を必要とするのとは対照的に、総合診療科に求められるのは「幅広い疾患の知識」と「それに基づいた初期診療能力」と考えております。つまり60点でいいので幅広い分野について初期診療を行い、スムーズに専門医による100点の治療に引き継いでいくように勉強を続けるとともに専門医の先生との関係を円滑にする努力をしたいと考えております。

耳鼻いんこう科「みみはなのど」



主任部長

川 かわ

島 しま

佳 か

代 よ

子 こ

みなさんこんにちは。耳鼻いんこう科の川島です。今日は当科の御案内をさせていただきます。箕面市立病院の耳鼻いんこう科は長らく常勤医師1人の状態が続いておりみなさまにご迷惑をおかけしておりましたが、昨年7月より川島、辻本と非常勤医1名の体制にて診察を行っております。耳鼻いんこう科の病気というと何を思い浮かべられるでしょうか？中耳炎、副鼻腔炎（ちくのう）、アレルギー性鼻炎、扁桃炎、声帯ボリープなどの代表的な病気がありますが、難聴、めまい、顔面神経麻痺などの病気も耳鼻いんこう科で診察しています。また耳鼻い

んこう科の特徴として自分では病変を確認できない場所にあることが多いということがあげられます。耳の奥、鼻の中、のどの奥など心配になった時に自分でそこを確認することができません。そのような不安な気持ちで受診される方も多いため、できるだけ丁寧に、正確な診察を期すため、微細な部分をファイバースコープや顕微鏡を使って診察をしております。重症の場合は入院加療が必要となったり、副鼻腔炎、扁桃炎、声帯ボリープなどの病気は手術も必要となることが多いです。市立病院では重症の患者さまと入院治療を優先させる必要があり、何か気になることが生じたときは、まずはお近くの耳鼻科に受診していただき、その上で検査、入院、手術などが必要となったら当院へ紹介いただくといった方法をおすすめしております。また当院でかかるつて、病状が安定してきたらお近くの耳鼻科へご紹介するといったことをすすめさせていただいております。外来診察を円滑に行う為、ご協力をお願いします。みなさまにご指導いただきながらよりよい耳鼻いんこう科にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

医療サービス担当からのお知らせ—「診療明細書」について—

従来診療明細書は、患者さまのお求めがあった場合のみ発行しておりましたが、平成22年4月1日より、患者さまへの情報提供や医療の透明化を推進するため、請求書(領収書)とともに詳しい内容を記載した診療明細書(無料)を発行することになりました。診療明細書には、使用した薬剤名や行われた検査名などが記載され、行われた医療内容や費用の根拠がわかるようになっています。医療内容をご確認いただき、患者さまの健康増進にご活用ください。

なお、診療明細書には『がん』『新型インフルエンザ』などの名称も併せて記載されます。その点を十分ご理解いただき、明細書の発行をご希望されない方は、⑤番または⑥番窓口にお申し出ください。

診療明細書			
外 科	協会けんば 00-00	Fax No. 1 発行日付: 平成22年 10月10日 発行時間: 10:14:15	
患者番号 90001050-8	氏名(テキスト) 患者	様	
日付 平成22年 4月 1日	診療料 [円] 1,000		
料金 小計 270	小計(税別)	270	1
薬事管理料 ・薬事監視料(薬事監視料)(1)検査以上の場合は CD-ROM検査料 CD-ROM検査料		400	1
検査 ・尿検査料(尿検査料以上) ・ホスミンシタバップ料 ソルデム(輸液)200ml	1,600	1	1
投薬 ・注射料(注射料以上) ・点滴料(点滴料以上) ・点滴料(点滴料以上)	1,000	1	1
薬事監査料 ・薬事(検査・新規・定期・定期) ・検査 ・電子薬事監査料(新規) ・ソリューション検査料 ・ソリューション検査料	210	1	1
診療料 ・新型インフルエンザ(検査料) ・検査料	210	1	1
お問い合わせ先 医療サービス担当			
※明細書は個人情報ですのでお取扱いにはご注意ください。			



平成22年度市民医療講座のお知らせ

前号でも、お知らせいたしましたが、今年度も5月から市民医療講座を開催しております。

10月と11月の市民医療講座が決まりましたので、ご案内いたします。みなさまお誘い合わせのうえ、ご参加お待ちしております。〈無料〉

箕面市立病院 市民医療講座 2010開催予定

日 時	場 所	講 演 内 容・講 師
10月22日(金) 13:30~15:30	箕面市立病院 (いろはホール)	婦人科疾患の最新治療法 産婦人科主任部長 足立和繁医師 〈共催:健康福祉部〉
10月23日(土) 14:00~16:00	箕面市立病院 (いろはホール)	胃がん・大腸がんは怖くない Part2 外科主任部長 がん診療推進部長 緩和ケア認定看護師 飯島正平医師 加藤健志医師 加藤理香 他 〈共催:OGSG・箕面市医師会〉
10月31日(日) 14:00~16:00	市民活動センター (多目的室)	家庭で簡単にできるリハビリ リハビリテーション部主任 濱崎大助
11月6日(土) 14:00~16:00	市民活動センター (多目的室)	インフルエンザの最新情報と治療から感染防止まで (社)箕面市医師会 前田内科クリニック院長 副院長 薬剤部主任 検査部主任 感染管理認定看護師 前田 密医師 山本威久医師 今井秀樹 藤井啓嗣 四宮 聰 〈協力:特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのむ〉
1月22日(土) 14:00~16:00	メイプルホール (小ホール)	白内障について 眼科主任部長 眼科医長 西 泰雄医師 浅川恵美医師

※手話通訳・要約筆記をご希望の方は、開催日の1週間前までにお申し込みください。

※詳細は、開催月の市広報紙「もみじだより」又は市立病院ホームページに掲載予定です。

※上記の内容は変更される場合がありますのでご了承ください。

※お問い合わせは、市立病院 経営企画課 (TEL 072-728-2034)まで

Wave of Nursing (看護局ニュース)

新人看護師の成長を支援する－研修システム－ 看護局副局長 現任教育委員会

就職したての頃は…

4月、学校を卒業したばかりの新人看護師は、外来や病棟に配属されるまでに毎日8時間、約8日間にわたって集合研修を受けます。そこでは練習用のデモ機を使った採血や点滴、救急蘇生の訓練、電子カルテの操作方法や感染予防など、より専門的で実践的な講義や演習を行います。研修開始当初は各自緊張した面持ちでとても静かな雰囲気ですが、すぐに活気溢れる現場に様変わりします。この間にできた同期の絆はとても強く、各部署に配属後も互いに良き相談相手になり、情報交換等の交流は続いている。

一定期間の集合研修が終了すると各部署に配属され、そこでオリエンテーションを受けます。病室やベットサイドに行けるようになっても初めはケアや処置の見学だけで、次に先輩看護師と一緒に実践を行います。そして、先輩に見守られながらやっと一人で行うことができます。一見、慎重すぎるよう思えますが、1つの医療行為を確実に行うための人材育成には時間を要します。新人看護師はその過程の中で技術を学ぶと同時に先輩への信頼や安心した職場であることを確信し、自分自身の成長に繋がります。

今年度新たに取り入れた「卒後臨床研修」システム

新人看護師が成長して独立していくには多くの時間と学習が必要です。看護師として習得しなければならない知識や技術の数は100項目以上あり、そのうちの半数が1年内に経験すべき項目になっています。これまで配属部署だけで経験を積んできましたが、1年を通して経験できない技術項目もあり、今年から1ヶ月間、集中治療室や手術室などの部署をローテーションして学習しています。「入ったばかりで配属部署にも慣れていないのに…」と不安を隠せない新入たちも、1ヵ月後には「いろいろ経験できて勉強になりました。」と自信に満ちた顔で語ってくれます。

私たち看護師は学校で学んだ知識や技術に加え、看護師になってからもいろいろな経験や学習を積み重ねて一人前になっていきます。スタートしたばかりの新人看護師の成長を暖かく見守っていただきたいと思っています。

本年4月から法律により、新人看護職員の臨床研修が努力義務として規定されたが、市立病院として、それにいち早く取組んでいます。

入職時、新人研修の様子





新任医師紹介

①所属科 ②卒年 ③自己紹介

さい しづき
崔 静姫

①内科
②平成20年卒

③みなさん、こんにちは。後期研修医として当院に勤務させていただくこととなりました。まだ専門分野を決めておりませんが、日々精進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

なかもり としえ
中森 利枝

①皮膚科
②平成17年卒

③7月より皮膚科に赴任しました中森です。まだまだいたらない点も多いと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

相談窓口のご案内

当院では、入院又は通院中の患者さま及びそのご家族に安心して診療を受けていただくため、医療相談をお受けしております。プライバシーは守られますので、お気軽にお申し出ください。

相談区分	相談内容	時 間	相談方法	担 当
受診相談	・受診する診療科に関すること	8:30~11:30		看護局 医療サービス担当
医療相談	・患者さま・ご家族さまの診療上及び看護上における不安や疑問などについて (お薬のこと、お食事のことなども含みます)	10:00~11:30	初来・紹介状受付(1番受付)にお越しください。	看護局 (相談内容により専門の職種と連携して対応します)
診療費に関する相談	・医療費に関すること ・公費負担や医療費の助成制度に関すること ・特定疾患医療に関すること	8:30~17:00	初来・紹介状受付(1番受付)にお越しください。	医療サービス担当
医療安全に関する相談	・安全な医療の提供に関すること	9:00~17:00		医療安全管理室
地域医療相談	・退院、転院に関すること ・かかりつけ医や訪問看護など、在宅療養に関すること ・保健・福祉サービスの利用に関すること	9:00~17:00	主治医、又は看護師に声をかけていただくか、直接地域医療室にお越しください。	地域医療室
がん相談	・がんに対する医療、療養、生活上の不安に関すること ・症状緩和に関すること	火曜日・水曜日 9:00~12:00	主治医、又は看護師に声をかけてください。	がん診療推進部

病院へのご意見については、各病棟及び1階正面玄関横にご意見箱「みなさまの声」を設置していますので、こちらもご利用ください。

地域医療室だより

登録医意見交換会・研修会を開催しました



5月22日(土)
に箕面文化・交
流センターにて
箕面市立病院登
録医意見交換会
・研修会を開催
しました。箕面
市だけでなく他
市の登録医の先
生にも出席いた
た

だき今回は、救急総合診療部における処方日数や他医療機関への紹介などについて、意見交換を行いました。今後も地域における医療連携の推進とサービスの

向上に向けた場として、継続的に開催する予定です。
※登録医とは、患者さまに継続的な医療を提供するため、紹介などを通じて当院との相互連携に協力いただける地域の医療機関のことです。9月1日現在の箕面市立病院の登録医療機関数は256機関となっています。

新メンバー紹介



和口秀子

病院に入職してから病棟や外来で勤務してきましたが、4月より地域医療室に配属になりました。これまでとは違った環境でのスタートで、ご迷惑をおかけするかと思いますがみなさまの力になれるようがんばっていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

たなばたコンサート



7月5日(月)の15時から16時まで、1階リハビリ棟のロビー前で「七夕コンサート」を開催いたしました。

「みのおアーティストクラブ」のご協力は今回で2度目になります。ピアノは加藤靖子さん、ギター、ウクレレは 大西洋二郎さんのお2人で、曲目は「禁じられた遊び」、「アロハオエ」、「雨だれ」(ショパン)などゆったりとした曲で始まり、コマーシャルソングとして耳にする曲、ウクレレによるハワイアンなどの夏らしい曲を楽しみました。

患者さまとご家族の参加は98人。その中には毎年歌うことを楽しみにされている市民の参加もあり、そのテノールの声にリードされ、今年は「涙そうそう」と恒例の「たなばたさま」を合唱しました。

外は雨上りの好天気・・・、演奏者と聴衆によって会場は一気に熱気を帯び、瞬く間に過ぎた梅雨の合間の楽しい1時間でした。

演奏の終わりには、参加されたみなさんの「願い事」を短冊に綴っていただき、笹に飾りました。

市立病院改革プラン評価委員会及び 市立病院地域医療支援委員会を開催しました

7月16日に第1回市立病院改革プラン評価委員会及び市立病院地域医療支援委員会を開催しました。市立病院改革プラン評価委員会は、改革プランの実施状況の点検・評価について、また市立病院地域医療支援委員会は地域医療に必要な支援について審議する委員会です。両委員会とも医療経済や病院経営の専門家、医師会の代表者、公募委員3名など14名の委員で構成しています。この日の委員会では、市立病院の改革プランと病院経営の現状と課題、地域医療支援病院について説明が行われ、早速、各委員からさまざまな意見や質問が出されました。次回は、10月20日の午後2時から開催します。傍聴も可能です。お問合せは…事務局経営企画課(TEL 072-728-2034)

青空(編集後記)

悩まされ続けた記録ずくめの酷暑も、どこへやら・・・。入れ替わって、澄んだ青い空と、きれいに輝く月が印象的な季節になりました。そして、瑞穂の国とはよく言ったもので、病院の北側の田んぼはたわわな稲穂の波です。

オレンジゆするバスの病院乗り入れで、環境も少し変化したかと思います。バスの運行時間と外来の時間予約制とをうまく組み合わせていただいて、受診くださいますようお願いいたします。

また、日頃からご自分の健康に関心を持っていただくためにも、市民医療講座の受講をお勧めします。

それと、普段からの手洗いの習慣付けをお忘れなく!!

